

佛教大学広報誌

B-ism



佛教大学
ありがとうが、あふれる世界を。

NO.29

B-ism
NO.29

発行日
2025年(令和7年)7月15日

発行者
佐藤 和順

編集者
広報委員会

編集・発行
佛教大学広報課
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96
TEL 075-491-2141(代表)
www.bukkyo-u.ac.jp/

撮影場所 佛教大学 紫野キャンパス

2 伝統を守りつつ進化する佛教大学へ

10 輝きClose Up 活躍する学生たち

14 hot-TOPICS. 大学の動向

6 「授業参観教員・研究紹介」
日本文学科編

文学部 日本文学科
神原勇介 准教授

12 クラブ・サークル見聞録

民俗学研究会
車いすバスケットボール部

21 BOOK Information 教員著書紹介

8 B-I.L. 研究報告

保健医療技術学部 理学療法学科
奥山紘平 助教

13 Favorite 「先生のお気に入り」

教育学部 教育学科 奥畑 志帆 准教授
子どもの考え方が見えてくる
「ボードゲーム」

22 B-Information みんなの掲示板

佐藤和順・新学長インタビュー

伝統を守りつつ進化する佛教大学へ 運営基盤を築き、激動の時代を乗り切る

今年4月、本学の学長に佐藤和順・教育学部教授が就任した。学長選で選ばれた理由を「新しい風を吹き込んで、さらに魅力ある大学にしてくれると期待したのでしょう」と語る佐藤新学長に、あるべき大学像や抱負を聞いた。

+

持続可能な大学であり続けるために、基盤の強化を

——新学長に就任した心境と、今後の抱負をお聞かせください。

大学のマネジメントは初めての経験となりますからドキドキしながら務めさせていただいているというのが正直な気持ちです。

本学は、今年で開学113年目を迎えた伝統ある大学の一つです。一方、急激な少子化など社会構造の変化

によって、大学を取り巻く環境は大きく変わっています。京都市内にも、学生の募集を停止した私立大があります。本学には長い歴史と役割があり、持続可能な大学であり続けなければなりません。そのため、運営基盤をより一層しっかりさせる考えです。

——佐藤学長は佛教大学の卒業生ではありません。所属も仏教学部ではなく教育学部です。とても珍しいとお聞きしましたが、なぜ学長に選ばれたとお考えですか？

何か新しい風を吹き込んで、さらに魅力ある大学にしてくれるのではないかと、という期待感があったのでしよう。

これまで附属こども園の園長としてマネジメントをしてきました。さらに、実家が幼稚園やこども園を運営し、私は園長や理事長を務めています。

こども園も大学も、子どもや学生がいて、教職員がいて、保護者がいて、地域に根ざしているという構図は一緒です。大事にしなく



います。学生がどのような力を付けたいのか、分からなくなっているのです。このため、どんな変化にも対応できるように、自分の頭でしっかりと考え、主体的に行動できる学生を育てたいですね。

また、「仏説阿弥陀經」というお経に、蓮の花を描いた「青色青光 黄色黄光 赤色赤光 白色白光」

という一節があります。青いものは青い光を放ち、黄色いものは黄色い光を放ち……というように、それぞれの個性を大事にしたらいという教えです。

この言葉の通りに、それぞれの学生の個性や能力を育てていける大学でありたいと考えています。

——教育に関してお話しくださいました。大学の役

割としては研究や地域貢献
もありません。

そうです。学生に対して
授業をすればよいというの
ではなく、その背景にはじっ
かりとした先生方の専門性
がなければなりません。佛
教大学はしっかりとした研
究環境を整えています。先
生方の研究が円滑に進めば、
それを地域に還元していけ
ます。この循環ができたら、

すごく良いなと思います。

——お話をうかがっていて、「伝統と進化」がキーワードだと感じました。

守るべき伝統は守りつつ、現代において必要ないと判断されるものは前例にとらわれずなくしていてもいいのではないかと、個人的には考えています。

浄土宗を開かれた法然上人も、同じような考えだったのではないでしょうか。それまでの仏教は、お金をたくさん積んだり、体力のある人が厳しい修行をしたりして初めて仏の悟りに至る、成仏できるという教えでした。ところが、法然上人は、ただ手を合わせて「南無阿弥陀仏」とお唱えすることによって、仏様が迎えに来てくださるとおっしゃった。それまでの仏教観とは全く違うことを提示されたわけですね。時機相応が大切なのです。

——学生や保護者、卒業生、地域の方々など、大学に関わる人たちへメッセージをお

願います。

皆さんには、佛教大学に大いに関わっていただきたい。いろいろな意見を寄せてほしいですね。

私はそれほどリーダーシップの強い人間ではありません。博識なわけでもありません。そのため、私が学長として持っている情報を開示し、皆さんから意見をいただいて、良い方向へみんなで進んでいこうと考えています。

学生はいろいろな点で地域の方々に支えていただいています。逆に、大学が子育ての広場を開催したり、お年寄りのための講座を開いたりして、地域貢献もできるわけです。保護者や卒業生の皆さんにも各種行事に参加するなど大学にお越しいただぎ、ニーズを伝えていただければ、大学もさまざまな提案ができます。ぜひ関わっていただきたいと思いますね。

B-ism

療技術学部※の看護学科が新設の看護学部として新たにスタートします。また、建設中の2号館の完成に合わせて、同年に社会福祉学部・社会福祉学研究所が紫野キャンパスから移転します。2027年4月には、保健医療技術学部※に健康スポーツ科学科（仮称）を設置する予定です。

JR二条駅から30秒程度という立地の良さもポイントです。イベントにも来やすく、人や情報が集まります。

さらに、一部の学生は紫野キャンパスでも授業を受けますから、自転車やバスで行き来します。両キャンパス間もすぐく活性化するでしょうね。

——大きな変化が起きそう

べき姿です。

「ありがとう」は仏教語です。「ありがたし」は、めったにないという意味。この世に人間として生まれてくることが「ありがたし」なんです。「ありがとう」という言葉は、人と人との関わりの中で使われますよね。人と人との関わりを大事にできるような人材を育てたいと思っています。

うに話しました。「仏教は古くさくて自分には関係ないと思っているかもしれないが、中道や生命の尊重、多様性の受容などは現代の私たちの生活にも関係します」と。仏教精神は私たち人間が生きていく根本であると感じたのです。

本学では、毎朝お経が流れます。卒業する頃には、毎朝お経を聞かないと寂し

自分の頭で考え、
主体的に行動できる学
生を育てたい

—— 佛敎大学で育成したい
学生の姿をお聞かせください。

昔とは違い、コンピュー
ターやＡＩが発展した現在
は、10年後、20年後の社会
の姿が想像できなくなっ

てはならないことは何か、これまでの経験で分かっています。規模の違いは、副学長や教職員、スタッフの支えで乗り越えます。

——4年の任期で成し遂げたいことは何でしょうか。

持続可能な大学として、しっかりした運営基盤を築くためには、高校生や保護者の方に選んでいただける

二条に社会福祉、保健医療技術、看護の3学部が集まり、健康や医療、福祉に特化することになります。紫野キャンパスと相互に呼应しながら活性化したい、伝統を守りながらも進化する大学でありたい、と思っています。

——二条キャンパスに若い学生が集まると地域は活性化しますね。

です。ロゴマークとタグラインも一新しましたね。

ロゴマークもタグラインも、大学のみんなで考えて作りました。

ロゴマークは、漢字の「佛」とアルファベットの「B」を市松模様のように合わせて作っています。人と人が支え合った姿です。私たちは一人では生きていきませんからね。

佐藤和順新学長に聞いた！

Q1 趣味は？
A ライブに行ってストレス発散をしています。去年はカーリー・レイ・ジエセンというカナダの歌姫と、ブルーノ・マーズ、テイラー・スウィフト、ももいろクローバーZのライブに行きました。

Q2 尊敬する人物は？
A 法然上人と父です。タイムマシンで誰か一人に会えたら、法然上人にお会いしたい。「こういうお言葉が残っていて、私はこう受け止めています。これでい

Q3 **好きな言葉は？**
A 「和顔愛語（わげんあいご）」です。いつも和やかな顔で、優しい言葉を掛けていきましょう、という意味です。

もう一つあります。こども園の卒園式では「猿も木から落ちる。でもまた登ればいい」という言葉を贈っています。

.....

Q6 **好きな食べ物は？**
A 卵です！サニーサイドアップが大好きです。卵かけご飯もゆで卵も好きです。

※2027年4月開設予定(設置構想中)。計画内容は予定であり、変更することがあります。

今日の授業

墓の文字が消されている!?

研究において、好奇心と並んで神原先生が重視するのが“疑いの目”だ。一次資料や先行研究も鵜呑みにせず、納得するまで考察を重ねる姿勢は、学生の共感を呼んでいる。日本文学科4年生の山崎陽太さんは、「日記文学の話が興味深かった」と語る。『『土佐日記』を専攻していますが、まだまだ分からないことが多いと実感しました」



「先生は教科書さえ疑う」と話すのは、同学科2年生の和泉里於さん。彼女が関心を持ったのは、紫式部の墓の話題だ。「墓所は佛大から歩いて20分ほど、堀川通と北大路通の交差点近くにあります」。入口の石碑をくぐると紫式部の墓があり、その隣には平安初期の歌人・小野篁の墓も並ぶ。『源氏物語』の注釈書『河海抄』には「紫式部の墓は小野篁の墓の西にある」と記されており、これが墓所の現在地を裏付ける根拠とされる。しかし「鵜呑みにしてよいかどうか」と神原先生は言う。

「戦国時代の著名な源氏学者・三条西実隆は、式部の墓は滋賀県の石山寺にあると考えています。彼は『河海抄』を読んだはずですが、その説は採用していない」。また、現地調査によって疑念は深まったという。『『小野篁卿の墓』と刻まれた碑に埋められた文字があり、目を凝らすと『是より東へ一町半』と読める。つまり、本来の墓はもっと東にあるということ。ただし、遅くとも18世紀半ばには篁の墓はこの位置にあったことが確認できます。この消された文字の意味するところはもう少し調べてみたいですね」とのこと。「現地に行かなければ分からないことがある。フィールドワークの大切さを改めて感じました。ぜひ皆さんも訪れてみてください」と、研究のさらなる指針を学生たち伝えた。

B-ism

2025
July

神原先生が、授業を通して学生に伝えたいのも「ワクワク」だ。「知らないことを知ったり、追求したりするのって楽しいでしょう。古典にはまだまだ未知の事柄がたくさんある。『源氏物語』の作者は紫式部一人ではない」「夫への不満を書き連ねた『蜻蛉日記』は、実は夫自身がそういう作品を書いてくれた作者である妻に依頼した可能性がある」など、古典の世界には次々と新説が現れ、検証が進んでいる。未知を知る楽しさを味わうのが、この授業だと神原先生は言うのだ。

もう一つのワクワクは、学生たちの身近にその背景が広がっていることだ。「紫式部の自宅跡も大学から遠くない。ふらっと訪れて昔の空気を感じてほしい」。地図を提示するのはそのためだ。

授業の終盤、神原先生は次回の予告をした。「道長をはじめ、当時の上級貴族の生活圏は平安京の北東部に集中していました。『源氏物語』の主人公・光源氏も同じです。でも、彼が若い時に非常に熱中した恋はその範囲外で起る。次回はその謎を解き明かしたい」。新たなワクワクとともに、この日の授業は終わった。



疑いの目とワクワクが古典を面白くする!

聖地・京都で「知らないこと」を学ぶ特別な時間

文学部 日本文学科 准教授

神原 勇介

神原 勇介(かんばら ゆうすけ) 1990年、神奈川県生まれ。博士(文学)。國學院大學大学院文学研究科文学専攻博士後期課程修了、國學院大學教育開発推進機構の兼任講師、東京経営短期大学の非常勤講師を経て、現職。研究分野は、「源氏物語」の形成と主題、平安朝文学と家族構造の連関。主な著書に、『「源氏物語」明石一族物語論:形成と主題』(新典社研究叢書、2022年)など。

このカリキュラムは、文学部日本文学科の学生を中心に1年生から4年生までが受講可能。神原先生は「古典が好きで文学部に入ってくる学生は少ない」と苦笑するが、教室は100人を超える学生で賑わう。授業は基本的に講義形式。レジュメをもとに、神原先生の心地よい語りで古典の謎と魅力が解説される。これまでに『枕草子』や葵祭などを扱ってきた。

.....

この日は第6回の授業。「今日はいよいよ、私の大好きな『源氏物語』のお話をします」と神原先生はうれしそうに語る。レジュメが配布されると、スクリーンに京都の市街図が映し出された。レジュメのタイトルは「源氏物語―市街地の多面的イメージ」。神原先生は紫色の範囲を指し、「この範囲が平安京ですね。読み解く前に、作者・紫式部の生活圏を知っておきましょう」と諭した。

これこそが本カリキュラムの要点だ。シラバスにも「京都という立地を生かし、現地訪問等により体験的に理解し、地理的条件と文学表現との連関を探る」とあるように、単に作品を読むだけでなく、地図やフィールドワークを通じて、作者や背景に迫るのが目的だ。

紫式部の背景を知るため、神原先生が用意したもう一つの資料が『紫式部日記』。『源氏物語』はフィクションだが、日記には「リアルな日常が記されている」と神原先生。

まず明らかにされたのは紫式部の職場。地図の北東部を指しながら、「冒頭文に

『土御門殿の有様』とあるが、これが紫式部の勤め先、藤原道長の邸宅です」と説明する。道長は摂関政治を極めた平安中期の貴族で、紫式部はその娘・中宮彰子に女房として仕えていた。さらに、道長を一本隔てた場所に紫式部の自宅がある。「女房は職場に泊まり込むのが基本ですが、これだけ近ければ着替えや資料を取りに帰るのも容易だったでしょう」。また、彰子の夫・一条天皇の宮廷でも働いた形跡が見て取れるという。

このように、一次資料として優秀な『紫式部日記』だが、一筋縄ではいかない点もあると神原先生は注意を促す。曰く「そもそも当時の日記は、現代のそれとは趣きも目的も異なる。昔の男性貴族の日記は業務日誌、つまり仕事のマニュアルとしての用途で書かれていて、他人に見せることを前提にしています。『紫式部日記』も業務日誌的な体裁を取っているが、非常にパーソナ





奥山 紘平(おくやま こうへい)
1987年、京都府生まれ。2010年3月、佛科大学保健医療技術学部理学療法学科卒業。2016年3月、武庫川女子大学大学院健康・スポーツ科学研究科修士課程修了。修士(健康科学)。医療法人勤務を経て、2022年から現職。専門は神経理学療法。パーキンソン病を中心とした神経筋疾患における運動制御異常や歩行障害に関する脳波研究に取り組む。主な論文に、歩行の正確性に関わる脳活動を明らかにした最新の脳波研究[Neural Oscillatory Mechanisms Underlying Step Accuracy](2025年)などがある。

ALSのある方たちの「名古屋で開催される『世界ALSデー』に参加したい」という外出支援に試行錯誤したり、「自分でLINEを使えるようになりたい」という希望には環境調整をしたりと、全方位からのさまざまなサポートも行ってきた。自分が介入することで「やりたい」を叶えられた時、その方の世界が広がる手伝いができたようでうれしいと笑顔で話す。

僕の名前とその方の名前。それだけの短いものでしたけれど、今でも思い出すと胸が熱くなります」

介入する相手を知ること、学生たちの精神成長にも

今は大学に籍をおく助教となったが、若年性認知症のある方々と学生を交えて定期的に話す機会を設け、当事者たちの「やりたい」をヒアリングしながらサポートする活動を行っている。一昨年には「eスポーツをやってみよう」との希望で、「エンジョイ! eスポーツ大会」をサンガスタジアムで行った。さらに昨年末には「学園祭を



やってみたい」との声を受け、二条キャンパスで「ORANGE FES」と銘打った1日学園祭を開催。いずれも「楽しかった!」「若いパワーをもらえた!」と当事者たちの笑顔があふれる機会となった。

も大きな成長に。「普段の生活では難病や認知症といった当事者の方々と触れ合う機会も少ないため、最初は怖い、難しいという感情が少なからずあったようです。しかし何度も接触を重ねるうち『自分たちと変わらない』と自然に接することができるようになっていきました。サポートをするうえで大切なことのひとつは相手を知ること。触れ合い、話をするところから始まるこの繋がりの中で、学生たちの共感性も育まれていったそうだ。

介入活動と同時で進行中 医療視点の研究に日々奔走

助教として4年目を迎える奥山先生は、「教育」、社会貢献、「研究」が、自分の三本柱」と語る。介入活動と並行して、研究も日々進めている。現在取り組んでいるのは、患者数が多い難病・パーキンソン病患者の歩行に関する研究。すくみ足などの身体的な問題に対し、単なる運動療法では

なく、脳からの情報伝達の障害に着目し、脳活動を可視化することで、新たなトレーニングアプローチを模索している。

一方で、当事者支援の現場には研究を持ち込まないのがポリシー。「やりたいこと」を純粋に支援したいという信念がある。しかし、現場で得た経験や学びが研究にフィードバックされることも多く、実践と研究の両立が自分にとって良いバランスになっているという。

「学生たちには、『医療は病院だけで終わるものではない』ということ伝えてほしい。病院での治療を終えて地域で暮らす人々を支援する視点は、医療職にとって極めて重要です。自分がその地域で何ができるかを考え、理学療法士として多角的な視点を持つことが、患者さんだけでなく、地域や社会全体を支える力になります。その力を、ぜひ大学で身につけてほしいですね」

「QOL向上の介入活動と医療面から支える研究を同時進行」 理学療法士の梓を越え、病とともに生きる当事者に寄り添う

保健医療技術学部 理学療法学科 助教 **奥山 紘平**



現在、一般的に行われているパーキンソン病患者への運動療法から、一歩進んだ、新たなアプローチによるトレーニング法を模索する研究が続いている奥山紘平先生。一方で、ALSや若年性認知症といった、それぞれ異なる背景を持つ当事者たちの介入活動にも奔走する日々を送る。彼らの「やりたいこと」を叶えるため、学生たちと共にeスポーツの大会や1日学園祭などを実施し、QOL(クオリティ・オブ・ライフ=生きる上での満足度や快適さを表す概念) 向上を目指す。

大学での学びから始まった 理学療法士としての人生

佛科大学に理学療法学科が新設されたのは2006年のこと。奥山先生はその一期生として進学し、理学療法の世界へ足を踏み入れた。学生時代でも心に残っているのは、臨床実習で関わった、身体を動かさないALS患者の言葉だ。「このままで生きていくこ

とに意味があるのか」との問いかけに、当時の奥山先生は明確に答えられなかった。「意味がない」とは答えたくない、けれど無責任に「意味がある」と答えてもいいのか…。そんな葛藤の経験から、なんとか力になりたいとの思いが湧きあがった。

卒業後は難病リハビリテーションや認知症デイケアを併設する医療法人天翔

会上田リハビリテーション診療所で、理学療法士として無我夢中に働いた。

数年の経験を積んだ頃には自分の体験や仕事内容について、医療関係者の勉強会などで話す機会も増えていった。知り合った看護師やケアマネジャーから相談を受けることも多くなり、医療現場の梓を越え、難病や認知症とともに生きる方々との関わりも自然と

広がっていった。

当事者のQOL向上を目指す 幅広い視点からの介入活動

介入活動を続けるなかで、立場は理学療法士であっても、その視点は次第に作業療法士や看護師など、多角的なものになっていった。「最終的に自分がどうなりたいかということより、僕が介入することで

当事者の方々に『生きていたから〇〇ができるようになった』『今日を迎えられてよかった』と思ってもらえたら嬉しい。そのためなら、自分の介入がどんなかたちでも構わないと思えるようになりました」

そのように考えるようになった背景には、ある研修会で出会った先生からの「もっと研究的な視点も持たないと」「広い視野が必要だよ」という言葉があった。理学療法士としては正解の行動も、他の立場から見れば、より良い支援の可能性があるかもしれない。そうした視点を育て、QOL向上のためにはさまざまな角度からの介入が必要だと気づかされた。

働きながら大学院に通い、研究の視点を磨くとともに、当事者と接するなかで、「少しでも暮らしやすく」「少しでも社会に出られるように」という支援を意識して介入を続けた結果、「やりたいこと」にも少しずつ触れられるようになってきた。



鳥羽高校のトレーニング指導後に生徒たちと記念撮影



ジムで学生を指導する様子



佛教大でセミナーを開催=2025年1月



2人の弟と一緒に

合格後、百武さんは迷わず大学に1年間の休学届けを提出。「ジムのオープンに全力を注ぎたかった」。最も苦労したのは集客。「SNSでの告知やチラシ配りを徹底しました」。弟の試合会場に向いて保護者に直接アピールすることも。そして、2024年1月のオープン時には、中高大生合わせて30人の会員を集めた。「うれしかったですが、最初から順調ではありませんでした」。競技やポジション、年齢によってトレーニングの目的や内容は異なる。一人ひとりに合ったメニュー作成には戸惑いもあったが、「好影響が表れ、学生や保護者から感謝されることに喜びを感じました」。指導面では、心理学科での学びが生きている。「継続してもらうためもあり、褒めて伸ばすことを大切にしています」。現在は、高校の部活への出張トレーニングや、バスケットボール大会のスポンサーなど活動の幅を広げている。「収益化もできていて順調です」と目を細めた。

年代に応じたメニュー作成
提案したビジネスプランは、トレーニングジムの経営。さらに「学生専用」という冠を付けた。「弟たちを指導した経験もありますし、教員免許も4つ取得していたので、自分の強みだと考えました」。課題は、それを7分間のプレゼンでどう伝えるか。「資料作りやスピーチなど、準備にはかなり時間をかけました」。肝にしたのは実体験を語ること。細身だった頃と肉体改造後の写真を並べ、「自分自身が実績だと伝えました」。結果は合格。30万円の資金を獲得した。

事業開始から1年が経った2025年1月。百武さんは学内セミナーを企画・登壇した。「社会連携センターからの依頼で、学生による起業についてお話ししました」。メリットや注意点を伝える中で、最も強調したのは「自分の強みを生かすこと」。「他者にはないストロングポイントを事業につなげるのが成功への第一歩。私にとって筋トレと教員免許でした。料理経験のない人が、いきなり飲食店を始めるのはリスクがあると思います」。ビジネスの規模は小さくてもいい。まずは地に足を付けて始めることが大切だと語る。「あとは思い切りも大事。コンテスト参加も休学も半ば勢いでしたが、結果的に本当によかった」

ジムの名「BRIGHT GYM」には、「誰もが輝ける場所にしたい」という思いを込めた。「かつての私のように、鍛えて成果が出れば自信になる。そんな人を増やしたいんです」。これからの活躍が楽しみだ。



B-ism

2025
July

BRIGHT GYM

ジムのロゴ

在学中にビジネスコンテストに応募

京阪「藤森駅」から歩いて約5分。京都市伏見区深草の一角に、「学生専用」のトレーニングジムがある。バーベルやダンベル、ランニングマシンなどの器具が揃い、「今まで指導してきた学生は100人以上」という。そのジムの専属トレーナーであり、経営者・代表を務めるのは百武大翔さん。本学の現役学生だ。

百武さんが起業を決意したのは大学3年生のとき。「佛大の社会連携センターから届いたメールを何気なく開いたんです」。そこには、一般社団法人京都知恵産業創造の森によるビジネスプラン募集の案内があった。「父が自営業をしていることもあり、いずれは自分も会社を立ち上げたいと思っていました。父のことはすごく尊敬してい

在学中にビジネスコンテストに応募



トレーニングジム経営で
学生に自信と輝きを与えたい！

教育学部 臨床心理学科4年生

百武 大翔さん

ますから」。ダメで元々、迷わず「2023年度ビジネス実践ラボ」に応募した。

プランが認められれば、順位に応じた資金が提供される。学生でも応募できるが、どんなプランでも通るわけではない。求められるのは確かなビジョンと熱意。応募者は、審査員である先輩経営者に自分の考えをプレゼンしなければならぬ。「自分は何かできるか、何がやりたいか」。百武さんの頭に浮かんだのが、トレーニングジムの経営だった。それは、自身のコンプレックスの克服と家族との絆を反映したビジネスでもあった。

弟と作り上げたトレーニングメソッド

厚い胸板、太い二の腕。Tシャツ越しに浮かび上がる白武さんの肉体は、まさに筋骨隆々。「ベンチプレスは、最高145キロです」。しかし、中学生の頃は華奢な体形だったという。「170センチそここの身長に、体重は50数キロ。サッカーをやっていたんですが、いつも当たり前負けるような選手でした」。一念発起して筋トレを開始。器具を購入し、動画や書籍を参考に地道なトレーニングに励むと、みるみるうちに変わっていく自分がいた。「大きくなるためには食事も大事なので、母親の料理にも感謝しています」

成果が出たことで、次に取り組んだのが家族へのトレーニング指導だ。「ラグビーをしている2人の弟に教えたら、どんどん体が大きくなって、プレーにも良い影響が表れ始めたんです」。やがて弟たちは、京都の選抜チームやユース年代の日本代表に選ばれるまでの選手に。「自分の変化以上にうれしかったし、私が今あるのは弟たちのおかげ。すごく感謝しています」。独学ではあったが、百武さんは自らのトレーニングメソッドに自信を深めていった。



奥畑 志帆(おくはた しほ)
京都府生まれ。博士(心身障害学)。筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。京都大学大学院工学研究科RPD/特定研究員、佛教大学障害学生支援専門職員を経て、2024年から現職。研究分野は、障害科学、認知心理学、生理心理学、生体機能工学。主な著書に『日本版DN-CASの解釈と事例』(日本文化科学社、2017年)など。

第二十七回
教育学部 教育学科 准教授
奥畑 志帆 先生の巻

先生のお気に入りボードゲーム

子どもの『考え方が見えてくる』



いろんな認知機能を駆使！
子どもの攻略法を
観察できるのが興味深い

専用のボードやカードなどを使い、プレイヤー同士の駆け引きや戦略を楽しむボードゲーム。私の幼い頃はまた家庭にテレビゲームがなくて、「コードブレーカー」などで遊んでいました。

大学院生時代、その後継機版が研究室にあり、ボードゲーム熱が再燃。認知心理学における学齢期の子どもの実験課題としても活用するようになりました。たとえば、人物の特徴の変化を記憶して消えた人物を推理するゲーム「ウエンディゴの怖い話」や、可愛いクマの絵柄の神経衰弱「memory」は、ひたすら目で記憶しようとする子、クマにニックネームをつけると覚えやすくなる子ども、その子の認知特性が見えてきます。実際に頭の中をのぞくことはできないので、ゲームに取り組む子たちの「記憶するための攻略法」をつぶさに観察でき、とても興味深いです。次第にスキルアップしていく様子も窺えてうれしくなります。

「インディゴ」は、いまいちばんのお気に入り。タイルに描かれたルートに沿って3色の宝石を移動させ、自分の陣地へと導いて獲得していくのですが、



目で経路を追う力、予測したり、プランを練る力など、いろんな認知機能を駆使するゲームです。目くらましが上手だったり、タッグを組んで勝ちそうな子を邪魔したり、それぞれの考え方のクセが分かります。じつは実兄が末娘に贈ってくれた誕生日プレゼントなんです。ブルー調のイラストが美しく、キラキラしたものが大好きな女の子の心をくすぐるし、負けず嫌いの高二の長男も本気で対戦。研究室に持ってきたら、ゼミ生たちにも息抜きになると好評です。しかも対象年齢は8〜99歳とありユニバーサル。ここ最近の大ヒットで、チョイスした兄も鼻高々でしょう(笑)。

ほかに、「ブロックス」「マッシュス」「マッシュ」(音速飯店)「実家にあった」「ダイヤモンド」など、基本はシンプルに楽しめるのがベスト。書棚に並べたコレクションは、スペースを取っているぶん、一家団らんに教材に学生のリフレッシュにと、幅広く活躍してくれています。

Hello!!

クラブ・サークル見聞録

彼は

「やさしい監督」「楽しいメンバー」「こだわりの活動内容や伝統」など、
佛教大学のクラブ、サークルといった課外活動団体の彼は(あれこれ)を
部員が自ら紹介、語ってくれます。

民俗学研究会



暮らしの身近な事象をテーマに
京都近郊をフィールドワーク

歴史学部歴史文化学科3年生
小畠 そわ未さん



民俗学研究会では、各自が興味のある分野について調査・発表後、質疑応答や意見交換をしています。ゼミ形式ですが雰囲気は至ってフランク。発表内容は、神話や妖怪、都市伝説、祭事、風習、葬送儀礼など多岐にわたります。民俗学の学問領域は幅広く、日常生活や人との関わりなど身近な事象が対象となるので、けっこう何でもあり(笑)。多様な視点

活動日: 月曜日、木曜日
活動場所: 教室



数十年と続く歴史あるサークルですが、昨年、悲願の部に昇格しました。その記念も込めて、「祟り」をテーマにした『鷹陵祭冊子』を初刊行し、学園祭来場者やOG・OBの先輩方に配布しました。今年も発行予定で、テーマを検討中です。また、『民俗志林』は、1地域を深掘りする総合民俗調査報告書で、最新号を今春刊行。調査から発行まで10年近い年月を経た号もありますが、この9号は2年弱で成果を出すことができました。これからも協力したい、部活動運営を軌道に乗せたいです。街歩きや地域交流が好きな人も、ぜひ一度遊びに来てください。

車いすバスケットボール部



障害の有無や性別に関係なく
誰もが楽しめるスポーツ

社会学部代社参科4年生
笹井 俊吾さん
社会福祉学部社会福祉学科4年生
荒口 裕晴さん



活動日: 週1~2回
活動場所: 体育館、京都市内体育館など



〔笹井〕車いすバスケットボール部は、パラスリートとして活躍されている藤原芽花さん(2025年3月、教育学部臨床心理学科を卒業)が発起人となり設立。2024年7月から活動を行っています。藤原さんとは、私が1年生のときに車いすバスケットボール連盟の合同練習で初めてお会いし、「いずれ創部したいね」と話していたんです。
学内では、パラスポーツの普及を目的として「車いすバスケットボール体験会」を定期的に開催しています。体験会に参加してその魅力を知った学生が初代部員に。藤原さんのバイタリティには驚くばかりで、私はそのサポートをしたにすぎませんが、創部が実現しました。現在、部員は10人、私以外は車いす初心者なので、操作方法から練習中です。これまで2大会に出場しましたが、まだ未勝利です。まずは1勝を目指して活動を活性化させていきたいと思っています。
〔荒口〕前に進むのは慣れましたが、回転操作がなかなか難しいんです。でも、普段とは異なる目標と筋力を使って運動すること自体が新鮮で楽しくて。一度乗って走ってみると、その迫力やスピード感にハマる人は多いと思います。
4月には、『京都ハンナリーズ』のホームゲームで、ハーフタイムに車いす体験型ゲーム『ばななおに』を企画・開催して盛り上がりそうです。車いすバスケットボールは、障害の有無や性別、年齢などあらゆる垣根を越え、誰もが楽しめるスポーツです。部活動や体験会への見学・参加、大歓迎です！

1

「ありがとう、あふれる世界を。」新たな佛教大学がスタートします

佛教大学は「ありがとう、あふれる世界を。」というタグラインを策定すると共に、1991年より使用していたロゴマークおよびロゴタイプをリニューアルし、2025年4月より新たなビジュアルアイデンティティを使用しています。

■ ■ ■
 本学は、仏教精神を基盤に、知識の修得のみならず、人と人とのつながりを大切に、他者を思いやる心を育むことを使命として歩んできました。

本学のそのような理念を明確に

示すタグラインを新たに制定することは、激動する厳しい社会状況の中にある、これからの使命に基づいて歩み続けるために不可欠であるとの判断から、教職員が一丸となって策定に取り組み、その結果として「ありがとう、あふれる世界を。」というタグラインが産まれました。

■ ■ ■
 「ありがとう」という言葉は、単なる挨拶ではなく、誰かの存在や行為に対する感謝の心を表すものであり、この言葉には、人と人が互いを思いやり、支



新ロゴマーク(2025年4月～)



旧ロゴマーク(1991年～)

え合う温かさが込められていきます。佛教大学は、「ありがとう」に代表される仏教の精神を教育の根幹に据え、大学としての教育研究活動を展開していきます。その際には、タグラインにこめた思いをもとにデザインしたロゴマークと一緒に活用し、佛教大学の新たなシンボルとして掲げながら、学生教職員が一つになって、本学のすべての取り組みを推進してまいります。

■ ■ ■
 新たなロゴマークは佛教大学の「佛」という漢字と、アルファベッ

トの「B」をモチーフとし、人が、手を差し伸べ互いを支え合い、つながる様子をイメージしています。ボールのゴシック体をベースにして、堂々と力強く成長していく姿を表現しています。

表示色は、所在地の「紫野」に由来する紫色のなかでも、知的で洗練された印象をもつ、紺に近い青紫色を「BUKKYO PURPLE」と名付けました。

■ ■ ■
 さらに、ロゴマークとの調和を考慮し、ロゴタイプも一新いたしました。

2

京都ハンナリーズのゲームで
学生がパラスポーツの魅力伝えました

©京都ハンナリーズ

チームパトナーであり、包括連携協定を締結している京都ハンナリーズが4月16日にかたおかアリーナ京都で開催したホームゲームのハーフタイムにて、本学バスケットボール部(車いす部門)が、車いす体験型パフォーマンスを実施しました。また、本ゲームの冠パトナーであるKBA(京都府バスケットボール協会)100周年を記念し、本学応援団本部(応援団・吹奏楽部・チアリーダー部)が会場を盛り上げました。

.....
 バスケットボール部(車いす部門)が車いす体験型ゲーム「ばななおに」を実施!

「ばななおに」は、鬼ごっここの一種で、鬼にタッチされた人がバナナのポーズをとるゲームです。障害の有無、さらに性別や年齢などあらゆる垣根を越えて、「誰もが楽しめるスポーツ」である車いすバスケットボールの魅力伝えるために、まずは車いすに乗っていただく機会を提供したいとの思いが込められたハーフタイムショー企画としました。

抽選によって選ばれ参加されたブースターの方は、初めて乗る車いすに戸惑いながらも部員とともに車いすの体験を楽しんでおられました。

.....
応援団本部が会場を盛り上げる!

応援団本部は応援団、吹奏楽部、チアリーダー部によって構成されており、硬式野球部やアメリカンフットボール部の応援活動を中心に行っています。今回は吹奏楽部が演奏しながら、応援団・チアリーダー部によるパフォーマンスを実施し「GO! KYOTO! HANNARYZ!」の掛け声などで会場を盛り上げるとともに京都ハンナリーズを応援しました。

.....
ぶったんも応援に!?

試合開始前には、本学公式キャラクター「ぶったん」も会場に駆けつけ、ブースターの方と一緒に写真撮影をしたり、京都ハンナ

.....
 リーズのマスコットキャラクター「はんニャリン」と交流するなど、楽しい時間を過ごしました。

.....
 佛教大学はこれからも京都ハンナリーズを応援します。



©京都ハンナリーズ

B-ism

2025
July

5 5 こころとからだを調えるリラクセーション・カフェの開催 —セルフケアで健康寿命の延伸を中京から—



急激な社会構造の変化やポストコロナの生活スタイルの変化が進む中、世代を超えた地域での支え合いをより充実させ、健康活動とコミュニティ活動を融合させた地域コミュニティの場として、「二条リラクセーション・カフェ」を開催しました。佛教大学二条キャンパスから健康を考えるコミュニティの場を創生したいという構想のもと、中京区民まちづくり支援事業の認定を受け、本学事務課の協力を得て実施しました。

本企画は、月1回全7回のシリーズで、漸進的筋弛緩法・誘導イメージ法・ハンドマッサージ・アロマストーン作り・ヨガなどのリラクセス体験とミニ講義、その前後に健康チェックを実施し、終了後は参加者同士の交流会を設けました。

参加者は56名で、3歳から80歳代までと幅広く、多世代の方にご参加いただきました。「引きこもっていたがチラシを見て外に出てみようと思った」「年齢的に無理と思っていたが希望が持てた」「年齢も職業も異なる人が集まって講座を受けることが良かった」などの感想が寄せられ、健康づくりに取り組む中で、世代を超えた住民同士のつながりが自然に生まれたのではないかと感じています。

また、本学看護学科の学生がボラ

6 6 看護師(3年連続)、保健師(7年連続)合格率100%を達成!

■ 2024年度新卒受験者

理学療法士(第60回)
受験総数 34名
合格者数 32名
合格率 **94.1%**

作業療法士(第60回)
受験総数 41名
合格者数 37名
合格率 **90.2%**

看護師(第114回)
受験総数 66名
合格者数 66名
合格率 **100.0%**

保健師(第111回)
受験総数 14名
合格者数 14名
合格率 **100.0%**

保健医療技術学部の2024年度卒業生(理学療法学科34名、作業療法学科41名、看護学科66名)が受験し、看護師(3年連続)、保健師(7年連続)合格率100%を達成いたしました!卒業生たちが本学での学びを活かし、今後も活躍してくれることを期待しています。

3 3 通信教育課程講演会

「AI時代を生き抜く～100の『なんだろう』の育て方」



当日は、本学で教員養成を専門とする4名の教員が登壇し、幼稚園・小学校・中学校と異なる教育現場の

本講演会は、参加者にとって、教職への理解を深め、今後の進路や現場での実践に活かせる貴重な機会となったものと考えております。

佛教大学通信教育課程では、3月1日に「AI時代を生き抜く～100の『なんだろう』の育て方」を開催しました。本講演会は、教職に関心を持ちながらも一歩踏み出せない方や、現職教員であらためて教育の本質を見つめ直したい方々を主な対象とし、多くの来場者にご参加いただきました。



4 4 「O.L.C.ラッピング電車」第2弾 走行中!



【走行区間】
京阪電車 石山坂本線(大津市内 石山寺～坂本比叡山口)
【走行期間】
2025年6月1日～2026年6月1日の1年間(予定)

新デザインの「O.L.C. ラッピング電車」が6月から京阪電鉄石山坂本線を走行しています。昨年11月から半年間運行し、ご好評をいただいたラッピング電車の第2弾です。

今回は、佛教大学オープンラーニングセンター(O.L.C.)のイメージカラー「オレンジ」とさわやかな「青緑」を車体の両面に配し、大津にゆかりの深い「源氏物語」や「百人一首」のほか、「能」「歌舞伎」など人気講座のイメージを扇のモチーフで表現しています。電車の正面には新しくなった佛教大学のロゴマークも掲載しています。

鮮やかなラッピング電車を、四季折々の大津の景色とともに楽しみなさい。

硬式野球部 第74回全日本大学野球選手権大会出場



公式ホームページはこちら

 佛教大学硬式野球部
<http://baseballclub.bukkyo-u.ac.jp/>

硬式野球部が第74回全日本大学野球選手権大会（6月9日～15日）に出場。明治神宮野球場で行われた初戦、東京農業大北海道オホーツク（北海道学生野球連盟代表）に8対5で見事勝利しました。続く12日には、北海学園大学（札幌学生野球連盟代表）に1対7で敗退しましたが、最後まで粘り強い試合を見せてくれました。



陸上競技部 全日本女子駅伝大会・富士山駅伝に向けて



陸上競技部女子中長距離部門は、全日本女子駅伝大会・全日本大学女子選抜駅伝（富士山駅伝）の出場権獲得を目指して、チーム一丸となり練習に取り組んでいます。

応援は選手にとって励みになり、かけがえのない力ともなります。引き続き、皆さまからの熱いご声援をよろしくお願いいたします。

【予定】

2025年9月27日

第35回関西学生対校女子駅伝大会

 ▶ 神戸しあわせの村内周回コース
 6 区間 33.0 km

2025年10月26日

第43回全日本大学女子駅伝大会

 ▶ 弘進ゴムアスリートパーク仙台（仙台市陸上競技場）
 START-FINISH 6区間 38.0 km

2025年12月30日

2025全日本大学女子選抜駅伝（富士山駅伝）

 ▶ 富士山本宮浅間大社前START～富士総合運動公園
 陸上競技場FINISH 7区間 43.4km

B-ism

2025
July

「令和6年能登半島地震」支援フリーマーケットを開催



「令和6年能登半島地震」被災地復興の現状に今一度目を向けるため、学生ボランティア室が主体となり、学生や教職員から提供いただいた物品を販売するフリーマーケットを1月14日から17日まで紫野キャンパスにて実施しました。期間中は募金箱も設置し、フリーマーケットの売り上げと共に全額義援金として日本赤十字社京都府支部に募金し、被災地支援に役立てていただきます。

また、被災地支援のためのチャリティー講座も実施しており、あわせて日本赤十字社へ募金いたしました。

今回の企画は、実際に被災地ボランティアを行った学生ボランティア室の学生スタッフが、被災地復興の現状を目の当たりにし、今一度、被災地に目を向けるきっかけを作ることにも、復興支援を行うことを目的として企画しました。

ご協力いただきました皆さまに御礼申し上げます。

フリーマーケット売上金	28,851円
学内設置募金箱	33,012円
チャリティー講座	171,000円
合計	232,863円





著／清川祥恵(文学部 講師)
晃洋書房
2025年2月
定価(税込)4,950円

ウィリアムモリスの夢
19世紀英文学における中世主義の
理想と具現



分担執筆／松本真治(文学部 教授)
国書刊行会
2024年11月
定価(税込)4,180円

エリザベスボウエンの短篇を読む

BOOK Information 本

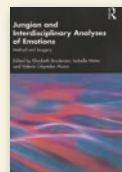
著者 出版社 出版日 価格

本学の教員による
刊行物をご紹介します。



分担執筆／堤拓也(教育学部 特別任用教員(講師))
東洋館出版社
2024年9月
定価(税込)3,850円

現代社会教育学事典



分担執筆／鈴木康広(教育学部 教授)
Routledge
2025年4月
定価(税込)7,663円

Jungian and
Interdisciplinary Analyses
of Emotions: Method and Imagery



共編著／大谷栄一(社会学部 教授)
世界思想社
2024年4月
定価(税込)2,090円

基礎ゼミ／宗教学(第2版)



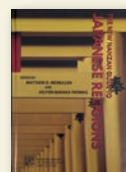
分担執筆／大谷栄一(社会学部 教授)
講談社学術文庫
2024年4月
定価(税込)1,496円

日本仏教再入門



共編著／堤拓也(教育学部 特別任用教員(講師))
大学図書出版
2024年11月
定価(税込)2,200円

実践編 拡がる！ふくしの学び



分担執筆／大谷栄一(社会学部 教授)
University of Hawai'i Press,
2025年
定価 52ドル

The New Nanzan Guide to
Japanese Religions



共編著／大谷栄一(社会学部 教授)
法蔵館
2025年5月
定価(税込)3,520円

森岡清美の宗教社会学
―その検証と継承―



分担執筆／大谷栄一(社会学部 教授)
春秋社
2024年4月
定価(税込)3,300円

別日本でいい



B-ism

2025
July



著／塩満卓(社会学部 教授)
法律文化社
2025年3月
定価(税込)6,380円

ケアの脱家族化
―統合失調症者と親双方の自律を
支援するソーシャルワーク―



編著／三重野雄太郎(社会学部 准教授)
大学教育出版
2025年3月
定価(税込)2,420円

概説 生命倫理学



教育学部



中村 恵子

特別支援教育



谷本 拓郎

臨床心理学科
犯罪心理学



大下 卓司

教育学科
教育方法学、
数学教育史



渡 勇輝

歴史文化学科
日本思想史

歴史学部

教員・職員

新規採用者紹介

教員は学科と専門を、職員は所属を表記
※特別任用教員は学科表記なし

NEW FACE



鈴木 皓一朗

看護学科
急性期看護(クリ
ティカルケア・周手術
期看護)



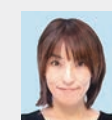
小宮 敬子

看護学科
精神看護学



安藤 千晶

看護学科
地域・在宅看護学



我妻 朋美

作業療法学科
身体障害作業療法
(手・ニューロリハビ
リテーション)、発達
障害作業療法



金田 喜弘

社会福祉学科
コミュニティワーク
論、地域福祉実践研
究、福祉教育



古市 文章

商学(会計学)

保健医療技術学部

社会福祉学部



小塚 理世

学生支援部
学生支援課



関藤 愛

入学部入学課



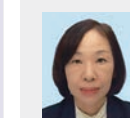
藤原 芽花

学長室広報課



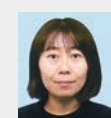
田辺 恋奈

附属こども園



田平 美紀

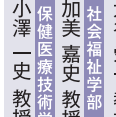
初等教育



松川 泰子

看護学科
公衆衛生看護学

職員 附属こども園教諭 教職支援センター



木原 黎明

二条キャンパス事務
部二条キャンパス
事務課



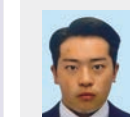
宮西 真佑

生涯学習部
通信学生課



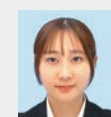
横山 きじろ

研究推進部
学術支援課



玉山 詩

教育推進部
学務課



松尾 凜紗

進路支援部
進路就職課

2024年度 定年退職教員

教育学部

篠原 正典(教育学科)
近藤 日出夫(臨床心理学科)

社会福祉学部

末崎 栄司(社会福祉学科)

保健医療技術学部

植村 小夜子(看護学科)
末安 民生(看護学科)

教職支援センター

岡田 賢二(教育実習担当講師)

入試に関するお知らせ

オープンキャンパス

[日程]8月2日(土)・8月3日(日)・10月12日(日)・12月21日(日)※ [場所] 紫野キャンパス・二条キャンパス(同時開催)

※ミニオープンキャンパスです。

学校推薦型選抜(公募制)

試験日	試験会場
11月25日(火)・26日(水)・27日(木)	京都(本学)・金沢・名古屋・米原・福知山・大阪・神戸・和歌山・岡山・高松・福岡 ※11月27日は京都(本学)・米原・大阪のみです。

*一般選抜(A日程、B日程、C日程)の試験日等は、次号(№30)でお知らせします。

*各入試の出願期間、試験科目等詳細は本学ホームページ 佛教大学入試情報サイトをご覧ください。



お問い合わせ先：入学部

通信教育に関するお知らせ

2025年度後期(10月1日入学)入学志願受付(Web出願)

8月22日(金)10:00~10月10日(金)17:00

2025年度後期入学説明会

- オンライン入学個別相談(要予約)
- オープンキャンパス(来場型・申込制)
- 合同入学説明会(公益財団法人私立大学通信教育協会主催)

詳しくはこちら



お問い合わせ先：生涯学習部

研究活動

「研究活動報 manako」をご存じですか？



本学ホームページにて「研究活動報 manako」と題して、本学教員の研究活動を発信しています。是非ご覧ください。



オープンラーニングセンター(O.L.C.)

公開講座受講生募集中！半期 12,000 円で 300 以上の講座が受講し放題！

オープンラーニングセンター(O.L.C.)は、対面とオンラインを融合させた新たな講義スタイルで、幅広いラインナップの講座を年間約600 講座開講しています。また、いずれの受講形態にも1か月間の「見逃し配信」が付き、ライフスタイルに合わせた受講が可能です。O.L.C.で、あなたの「学び」の扉を開きませんか。

※16ページにホットトピックス記事

お問い合わせ先：オープンラーニングセンター



宗教文化ミュージアム

イベントカレンダー(2025年7月~12月)



浄土宗の歴史・思想・美術などをテーマとする展示や、当館が所在する嵯峨野地域の歴史や文化の魅力をひろく紹介しています。民俗芸能などの公演を行うシアターを併設しているのも特徴です。

開館時間 10:00~17:30(※入館は17:00まで)

入館料 無料 休館日 土曜・日曜・祝日

お問い合わせ先 宗教文化ミュージアム

〒616-8306 京都市右京区嵯峨広沢西裏町5-26

TEL:075(873)3115 museum@bukkyo-u.ac.jp



開館予定やイベント情報は、ホームページ内の「開館スケジュール・イベント」を随時更新しています。

日程	内容
7月1日(火)~	平常展示 「祈りと祀り、そして地域へ」
10月下旬~ 11月29日(土)予定	特別展 「黒い招き猫 主夜神への願いと想い」 ※会期中のイベントや開館情報は HP でおしらせします。

※最新の情報は当ミュージアムのホームページ(https://www.bukkyo-u.ac.jp/museum/)をご覧ください。

B-ism

2025
July

B-information

みんなの掲示板

2025年 主な行事予定

学校推薦型選抜(公募制)

Date
11 / 25
(tue.) ~ 27
(thu.)

第16回ホームカミングデー2025

Date
11 / 2
(sun.)

第59回鷹陵祭(学園祭)

Date
11 / 2
(sun.) ~ 4
(tue.)

同窓選抜等

指定校MU選抜、課外活動選抜、

Date
10 / 26
(sun.)

総合型選抜(自己推薦制)、宗門後継者選抜、帰国・外国人生徒選抜等

Date
10 / 25
(sat.)

創立記念式典

Date
10 / 23
(thu.)

卒業・修了

学位記・卒業・修了証書授与式(通学課程・通信教育課程9月)

Date
9 / 28
(sun.)

当誌「B-ism」は、佛教大学広報課が発行する広報誌です。
佛教大学の「人」・教育・研究などを、より多くの方々に知っていただく目的で、佛教大学の魅力を伝えるべくさまざまな企画をお届けしています。
これまでに発行された「B-ism」は本学ホームページからも閲覧できます。

『B-ism』のバックナンバーが見られます



《アドレス》http://www.bukkyo-u.ac.jp/about/publicity/

トップページ



大学紹介



大学広報



読者アンケートのお願い

B-ismに関するアンケートにご協力いただいた方の中から、抽選で佛大オリジナルグッズをプレゼントいたします。以下の二次元コードよりご応募ください。



※応募締切：2025年9月20日
※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。



(1)ロゴマークタオルハンカチ

5名



(2)「ぶったん」スクイーズ

5名



(3)佛教大学オリジナル御朱印帳

(紫色/ラベンダー色/桃色)

各1名